

## 最近の女性の未来観

一部上場企業の総合職として採用された女性へのアンケートで「仕事を継続する上で大変だったこと」は何かと質問

したところ、既婚者は、子どもの保育(21・7%)、手本とする人の不在(15・2%)という回答が多く、未婚者は、手本とする人の不在(23・7%)が最も多い結果となりました。

また、「仕事を継続できた主な理由」について、既婚者は、夫の理解・協力(32・6%)、子どもがいなかった(17・4%)と回答した人が多く、未婚者は、独身だったこと(50・0%)が突出していました。

二〇二〇年ごろの雇用・就労の状況について、彼女たちの予想を見ると「女性の再就職が容易になっている」かどうかについて肯定的回答は33・0%、「女性管理職が増えることなどで男女間賃金格差が

格段に小さくなっている」という予測に肯定的な回答は50・5%です。

また、「二割以上の男性が育児休業を取るようになる」と予想する女性は15・4%に過ぎず、男女共同参画に関連する未来の雇用環境について厳しい見方をしています。

調査の対象数が少ないことから、統計的には断定することはできませんが、総合職となつて現在まで働き続けてきた女性の婚姻率の低さや、子どものいない人の割合の高さを見ると、結婚し、子育てをしながら総合職として働くことの厳しさを感じずにはいられません。

仕事と子育てを両立する上での負担を軽減するための支援が、いかに必要であるかがこれらのアンケートの結果から明らかといえるでしょう。

# 教育夢発信

## 土岐津小学校

### 地域に学び、地域とともに生きる土岐津っ子

総合的な学習の時間「土岐津っ子タイム」では、学年ごとにテーマを決め、地域に眼を向け、地域から学ぶ活動を進めています。

ここでは、三年生と五年生の学習の様子を紹介します。

#### 三年生「昔のお話を聞く会」

土岐津町の町探検を行い、地域の自慢見つけをしてきた子どもたちは、「昔の土岐津はどんな町だったんだろう。子どもたちはどんな遊びをしていたんだろう。知りたいな」という願いを持ちました。そこで、昨年十二月に地域のお年寄りを学校に招待し「昔のお話を聞く会」を開きました。お手玉やおはじき、缶馬など、たくさん遊びを教えてくださいました。片手で上手にお手玉をする姿を見たり、お話を聞いたりする中で、昔の人々の手先の器用さや知恵や苦



労を知ることができました。

#### 五年生「土岐商業高校と交流」



五年生は「水と環境」をテーマに、老人会の方々に教えていただきながら米作りをしました。また、妻木川探検の学習では、地元の土岐商業高校生と一緒に妻木川の生き物調べを行いました。昨年十二月には土岐商業高校を訪問し、パソコンを使って調査のまとめづくりをしました。地域の高校生のよさを感じ取ることができました。

◇  
このように、お年寄りや高校生との触れ合いを通して、子どもたちは地域やそこに住む人々の素晴らしさを感じ取りました。これからも、自分の課題や目的を明確にし、地域を愛する子どもを育てていきます。